

言語活動及び「言語活動を通じた」指導の充実を目指したデジタル教科書を活用した好事例

理解したことを表現につなぐ際の、生徒一人一人の練習を支援するツールとしての活用

本事例では、会話の内容を理解し、続きを考えて書くまでの過程において、生徒は様々な方法で英文に触れていく。活動の内容に合わせて、紙の教科書とデジタル教科書の良さを生かしながら、理解したことを生徒自身の力で表現できるようにしている。



単元名：杵築市英語ボランティアガイド参加希望の自己PRカードを書こう
(Lesson 4 The World's Manga and Anime New Crown3)

■単元の目標

自分の得意なことや英語でできること、杵築市のよさや体験できることなどのアピールポイントを入れた英語ボランティアガイド参加希望の自己PRカードについて、教科書の英文に様々な方法で何度も触れさせ、その英文にある語彙や表現を使った言語活動を繰り返し行うことを通して、既習の文法事項に関係代名詞（主格）を加えて書くことができるようにする。

■本時の目標

教科書の対話文の内容について、対話文を聞いたり、音読したり、内容についての質問に答えたりする活動を通して、理解することができるようにする。

■本時の展開

- 短い英文を読み、事実発問に回答した後、QRコードを読み込んで発音を確認する。（生徒は個人でイヤホンの使用について判断し、日本語訳を見ながら発音を確認する。）
- デジタル教科書を使用し、教科書本文を三回聞く。
（1回目：何について話しているかを聞き取る【音声のみ】⇒横ペアでシェア、2回目：聞き取れた語をメモする【音声のみ】⇒縦ペアでシェア、3回目：詳しい内容を聞き取る【アニメーションつき】）
- 紙の教科書やワークシートを見ながら3種類の方法で、教科書の本文を音読し、その後、デジタル教科書を使用して音声を聞きながら各自のペースでオーバーラッピングを行う。
- 本文の会話の続きをペアで考え、全体で発表する。
- 難しかったことや次の時間以降に頑張りたいことについて振り返り用紙に記述する。

学校名：杵築市立山香中学校